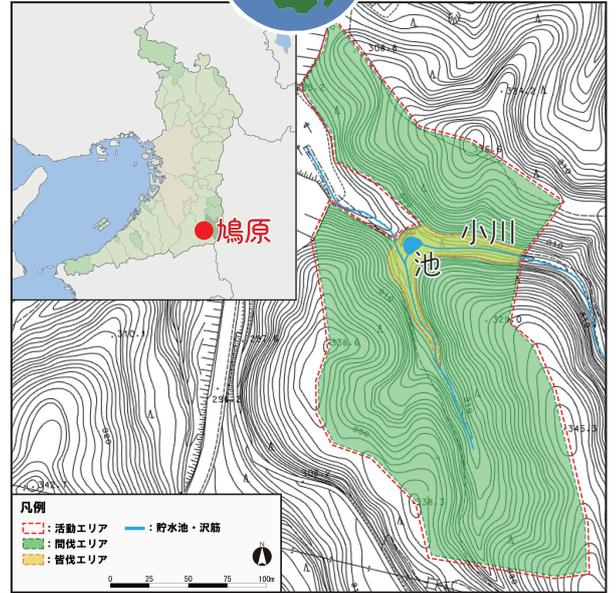




「ニュージェックの森」はこんなところ

大阪府の「アドプトフォレスト制度」を活用した森づくり活動を令和6年10月から開始しました。活動地は大阪府河内長野市の鳩原（はとはら）にあります。面積3.8haで、小川や池（元は農業用のため池で錦鯉が泳ぐ）もある針葉樹林（スギ・ヒノキ植林）です。現在は、林業としての管理が十分に行われず、細い樹木の多い薄暗い森になっています。これから間伐などを行い、広葉樹の育つ生物多様性の豊かな森に転換していくことを目標としています。



2024年秋から環境調査をスタート

広葉樹林への転換作業を開始する前に、現在の森の状態を1年かけて調査しています。

2024年秋季と2025年春季の調査では、植物221種、鳥類19種、哺乳類4種、昆虫類23種が確認され、環境省や大阪府のレッドデータリスト掲載種のオオムラサキの幼虫が確認されました！また、植物についても、想像以上に種多様性のポテンシャルが高いことが判明しました。その要因の一つとしては、シカが侵入していないことが大きいと考えられます。NJの森から3kmの所にある観心寺付近の林ではシカによる食害が確認されており、今後の動向が懸念されるどころです。

植物



現地を歩いて見つけた種類を記録します

鳥類



双眼鏡や望遠鏡などでの観察や鳴き声で確認します

哺乳類



センサーカメラの設置やフィールドサイン（足跡や糞など）で確認します

昆虫類



虫網での捕獲やピットフォールトラップ、ライトトラップを設置して確認します

今後の予定

これから、2025年夏季調査、毎木調査を行い、伐採計画を立てて、2025年冬から間伐を開始する予定です。作業が始まりましたら、是非ご参加ください！



こうなります!!